

五鈷杵・五鈷鈴

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	ごこしょ・ごこれい
所在地	岡山市北区金山寺 金山寺
指定年月日	平成4年4月3日
解説	ともに把(は)に鬼面、鈷(こ)は獅子の頭部を模様化したもので飾るなどしており、両者がもともと一具のものとして制作されたことを示す。寺伝では、臨済宗開祖の栄西が金山寺に寄進した法具という。鎌倉時代の優れた金工技術を伝える作品として貴重。五鈷杵は長さ19.0cm、五鈷鈴は高さ21.2cm。ともに鑄銅鍍金製。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	